



特集

会社が必要とする社員を育てるためには

社員教育支援事業 活用のすすめ

「社会人に必要なコミュニケーション能力の向上」、

「組織における社員の意識改革・活性化」、

「部下の育成に求められる管理職の職務」など、

さまざまな側面から効果が期待される「社員教育」は、どうあるべきか取材した。



社員を育成し、会社の経営基盤を強化する

昨今の厳しい経済情勢の中、各企業では人件費の削減などにより、限られた人材の中で今までと同等、またはそれ以上の生産性が求められるのが現状だ。

しかしながら、本来、従業員は単なるコストではなく、企業に利益をもたらす資産であり、教育訓練によってその資産価値を上げることが企業の生産性が向上し、結果として大きなリターンを得ることができるとも事実だ。

そのため、社員の仕事に対する意欲や積極性を喚起するとともに、「コミュニケーション能力や、問題解決・回避能力の向上に向け、積極的に「社員教育」に取り組み企業が増えてきており、最近では、新入社員だけでなく、中堅社員や管理職など、幅広い階層において実施されている。

そのような中、当所でも、会員企業に対し、各階層別のさまざまな社員教育支援事業を展開している。

社会人としての礼儀やマナーはもとより、組織の一員としての「コミュニケーションスキル」の向上や、管理職向けのマネジメント能力向上、さらには、個人のスキルアップに向けた多様なメニューを用意している。

本稿では、これまで実施した社員教育支援事業などに参加された企業からの声に加え、専門家に聞いたその意義について解説する。



新入社員向け

社員教育とCSR活動を連動させ、地域に根ざす企業へ

札幌日信電子株式会社

当所では、毎年四月に会社生活の基本やルールを身に付ける「新入社員研修」を実施している。

札幌市営地下鉄の自動出改札装置や、鉄道信号装置などの開発・設計・メンテナンスをはじめとし、交通信号工事、電気設備工事、資材販売、住宅リフォームも手掛ける総合設備会社札幌日信電子(株)では毎年この研修に社員を参加させている。

社外研修で、業務における社内慣習の見直しを図る

「社外の研修を受ける最大のメリットは、広く一般的な人を対象としたカリキュラムでスタンダードを学べる

ことです」と話すのは、総務部の田中弘之部長。
「例えば、自社では当たり前のように習慣的に行われていたことも、一般的には違うこともあり。新入社員が、研修で標準的なことを学び、それを自社に持ち帰ってもらうことは、新入社員の教育にもなりますし、自社全体の改善にもつながります。そういう意味も含め、弊社では積極的に研修を受けさせています」。

また、「弊社の仕事は、機械に向かう作業が多いので、外部の人と接することが少なく、協調性を養いにくい環境といえます。また、最近の新入社員は全体的におとなしい傾向があるので、それでは事業も拡大しないのではないかと危惧しています」と語るように、人としての幅を広げるために、さまざまな機会を提供している。

新入社員の育成では、当所の研修のほか、グループ会社全体で新入社員研修を行っている。「これらの研修では、今まで体験したことのない幾つかの課題に挑戦します。そこで結束力を高め、



新入社員研修発声練習の様子

グループ内の競争意識を感じることで、より向上心を持って仕事ができるようになります」と説明する。

同社では、このような取り組みを通じて、コミュニケーション能力、課題解決能力などを養うとともに、積極性や行動力の向上、社会人としての意識の変革などに取り組んでいる。

このほか、地下鉄駅構内で作業することも多いことから、万一の事態に備えて社員全員が普通救命講習を受講しているほか、障害のある人にはどう対応すべきかの接遇訓練、豊平区とのアダプト制度の締結や、「ミニマックス」への参加など、CSR活動も社員教育と位置付け、力を入れている。

研修紹介

1

平成25年度 新入社員研修 社会人としての基本ルールをマスターし 即戦力となるために

日時:平成25年4月8日(月)・9日(火) 9:30~16:30
場所:北海道経済センター 8階 Bホール(札幌市中央区北1条西2丁目)
受講料:会員1名 25,000円/非会員1名 35,000円 ※昼食付
定員:100名程度

【カリキュラム】①社会人としての心構え、②仕事の進め方5つのステップ、③対応マナー6つの要素、④コミュニケーションの強化、⑤電話対応の基本、⑥来客・訪問対応、⑦ロールプレイング ほか
【お申し込み・お問い合わせ】 札幌商工会議所 中小企業・創業支援課 TEL:011-231-1768

同社は今後も地域貢献活動を通して、社員の協調性を養い、地域へ根ざした企業を目指していく。

札幌日信電子株式会社

☎011-855-1678

URL: <http://www.sapporo-nissin.co.jp/>

co.jp/

中堅社員向け 次代の軸となる幹部候補を どう育てるか

株式会社日本ビジネス社

中堅社員が、次のような状況に陥っていないだろうか。

- ・ 一担当として自己完結できる仕事だけで慢心してしまっている。
- ・ 後輩を戦力に育てる意義が分からず、おろろろ、すぐ足手まとい扱いをする。
- ・ 目標達成に向けた行動計画をいまだ上司の具体的な指示に委ねている。
- ・ チームの空気やその流れが業績に与える影響を分かっていない。



(株)日本ビジネス社 佐々木隆浩 代表取締役社長

「これらに思い当たるのなら危機感を持って人材育成に当たるべきだ」と警笛を鳴らすのは、企業再生から合併、人材育成研修などを担当する企業コンサルティング会社(株)日本ビジネス社の佐々木隆浩社長だ。

佐々木社長は、当所の人材育成研修の講師として「営業力強化」や「部下力強化」研修などの指導に当たっている。

同氏は、「中堅社員のモチベーション

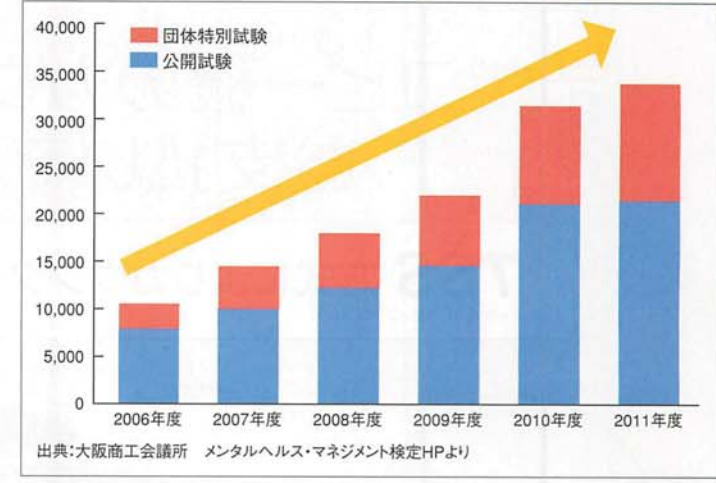
を上げ、マンネリ化を解消しなくては、転職をされて人材の流出につながりかねない」と指摘する。

その研修の目的を理解させることが大切

自社の将来を担う人材の流出は、企業にとって大きな痛手だ。それを防ぐためには、次代のリーダーとしての人格育成や組織風土の改革など、会社独自の教育計画を作ることや、研修などで従業員の意識を変えていくことが求められる。「ここで大切なのは、経営者として人材教育を行う前に、その社員に対して何を学んで欲しいのか、何を求めているのかを経営者自身の口から社員へ説明し、少しでもその研修の場に同席することです。これだけでも、社員の意識は変わってきます」と語る。

また、伸び悩んでいる社員に対しては、「その社員に欠けていることは、成功事例体験が少ないこと、起きる問題に対しての対処能力が低下していることなどがあります。他社で成功した社

図2 メンタルヘルス対策に取り組むため「検定試験」を導入する企業・団体が増えている



企業のリスクマネジメントとしてのメンタルヘルスケアの必要性について当所が行う「メンタルヘルス・マネジメント検定受験対策講座」の講師である、中村キャリア・マネジメント・オフィスの中村研一代表に話を伺った。

「経営の効率化を図るために必要最低限の人員で生産性を無理に高めようとする、その中で心の不調による作業効率の低下、ミスや事故が起これりやすくなるだけでなく、精神疾患に陥り労災認定がなされるケースが増



中村キャリア・マネジメント・オフィス 中村研一代表

部下のいつもと違うサインを見逃さない

「この検定ではどんな力が身に付くのか」「管理者向けのII種のラインケアコースでは、『職場環境の評価および改善の方法』と、『労働者からの相談の方法』の二つを柱に学びます。『職場で不調者を出さないために、どういった職場環境を整えたいか』を

えています」と中村代表は語る。

また、メンタルヘルス不調者が一人でも出ると、社内のほかの社員も影響を受け、第二第三の不調者が出始めるとも言われている。その中で、「企業が安全配慮義務違反を問われないためにもメンタルヘルス体制の整備は重要。その具体的な打ち手としてメンタルヘルス・マネジメント検定は、取り入れやすいでしょう」と危機管理の観点から必要性を強調する。

員教育を社内を持ち込んでも、それだけの組織風土があるので、通用しない場合があります。社内には必ずいるトップセールス社員と、伸び悩んでいる社員は何が違うのかを分析し、トップの社員がやっていることをパターン化させるというでしょう。こうして勝ち方を知っている社員をつくっていくことも、会社が生き抜く方法だと説明する。

「人間はすぐには変わらないですが、企業として変わるチャンスを与えることは、経営者としての役割です」。次代の軸となる幹部候補をどう育てるか、けん引役となる人材を見極める経営者の力も求められる。

株式会社日本ビジネス社
☎ 011-6881-3448

管理職向け リスクマネジメントとしての メンタルヘルスケア

企業におけるメンタルヘルスケアは単なる疾病対策ではなく、大切な人材開発の一つであり、リスクマネジメントだ。

そのような中、仕事のフォローだけでなく、親身に相談することができ、部下の異変に気付くことができる力

研修紹介 2

●営業力強化研修「初対面の気後れ、あがり脱却法」
日時:平成25年6月7日(金) 9:30~16:30
内容:初対面の相手へと一歩近づく自分づくりのテクニックを修得
場所:北海道経済センター 8階 会議室
受講料:会員1名 12,000円/非会員1名 20,000円

●営業力強化研修「苦手な顧客との付き合い方」
日時:平成25年8月7日(水) 9:30~16:30
内容:苦手な顧客を克服し、商談成立に向けた営業方法を学ぶ
場所:北海道経済センター 8階 会議室
受講料:会員1名 12,000円/非会員1名 20,000円

【お申し込み・お問い合わせ】
札幌商工会議所 中小企業・創業支援課 TEL:011-231-1768

が今管理職に求められているのではないだろうか。

大阪商工会議所が主催する「メンタルヘルス・マネジメント検定」は、第一次予防(疾病の未然防止と健康増進)に重点を置き組織全体のケアを促進

3 研修紹介

さる知識を身につけることが今の管理職に求められることだ。

中村キャリア・マネジメント・オフィス
☎ 011-5881-3448

メンタルヘルス・マネジメント検定試験
第15回検定日:平成25年11月3日(日)

【コース内容】

- I種 マスターコース
社内のメンタルヘルス対策の推進
- II種 ラインケアコース (管理職におすすめ!)
部門内、上司としての部下のメンタルヘルス対策の推進
- III種 セルフケアコース
組織における従業員自らのメンタルヘルス対策の推進

【お申し込み・お問い合わせ】
メンタルヘルス・マネジメント検定試験センター
TEL: 06-6944-6141 URL: <http://www.mental-health.ne.jp/>

スキルアップにおすすめ!検定

当所人材教育センターでは、上記のメンタルヘルス・マネジメント検定(II種・III種)をはじめとした各種検定の受験対策講座を開講しています。

検定名	内容	次回検定日
日商簿記検定3級・2級	企業の経理事務に必要な会計の知識が身に付く	平成25年 6月 9日(日)
環境社会検定(eco検定)	業種・業態を問わず社員の環境教育の学習に役立つ	平成25年 7月 21日(日)
ビジネス会計検定3級	財務諸表に関する知識や分析力を問う	平成25年 9月 1日(日)

詳しくは 人材教育センター <http://www.scci-jcenter.jp> ☎:011-223-7172